

---

# 瞳の奥に

新品の靴

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

瞳の奥に

### 【著者名】

ZZマーク

1

### 【作品名】 新品の靴

### 【あらすじ】 よし。

今日撮つてきた写真を壁に貼る。

よし。

今日撮つてきた写真を壁に貼る。

これで1246枚目の写真。

そして壁一面の1246個の眼球が僕を見つめる。

僕は眼というものが好きだった。

いや、ただ好きだなんていう薄っぺらくて安い表現じゃない。

もっと根源的なものなんだ。

毎日僕は誰かの眼にみられそして見つめ返す。  
その瞳の奥の奥へと旅立つてゆく。

決して飽きることのない、心の飢えと渴きを潤してくれる時間。  
人間の眼でもいいし、それ以外の動物の眼でも、多少物足りないが  
いい。

絵としての眼も、とてもとても惹かれるものが数多く存在する。

人は眼を見て話す。

人は眼で相手を判断する。

嬉しそうな眼

悲しそうな眼

辛そうな眼

楽しそうな眼

絶望した眼

哀願するような眼

優しそうな眼

眼とはかくの如き様々な情報を与えてくれる。

眼とは、その人のエネルギーが放出される扉なのだ。

だから、写真となつて切り取られてもそのエネルギーはずつと残り続ける。

まるで「ゴミ」になつてもエネルギーを放出し続ける核融合炉のはいきぶつのようだ。

今日も僕はいい眼を切り取るために大切なカメラと共に町を歩く。

は  
つ

息をのむ瞬間。

鳥肌が立つ。

出会った・・・

衝撃はまず心にやつてくる。

どーんと巨大な杭で貫かれた心臓は痛みと歓喜の喜びで震え、  
その震えが身体の震えにリンクする。

呼吸が荒くなり、汗が噴き出す。

見失うな見失うな見失うな

震える手でカメラを握りしめ彼女のあとを追っていく。

あんなに深い眼、初めて見た・・・。

その少女は早足で高層ビルの間を抜けていく。

どうやって撮る？

くそっ、できるなら全面アップで正面からあの瞳を撮りたい。

いつそ走って正面から撮って逃げるか・・・？

いやそれだと間に合わないか・・・？

僕は対象となる人物に撮影の許可を得ることなく撮る。

それが僕のポリシーだ。なぜなら、みんなカメラの前に立った途端、透明なぬいぐるみを被り、眼がなんてこともない眼になってしまふからだ。

あらゆる感情がただの鈍い光に変わってしまうのは耐え難い。  
ぬいぐるみを被る前の新鮮な瞳を切り取らないといけないのだ。

いつそ彼女がどこか店にでも入ってくれれば撮りやすいんだけど  
・

すると急に彼女は直角に右に曲がり姿を消した。

「まづい。」

ゆつくりと路地裏を覗きこむとその少女が目と鼻の先にいてきゅうにむなぐらをつかまれた。

「何？変態？なんで私の後をつけてくるの。」

「ああ・・・この瞳、ほしい。」

「いや・・・ちょっと写真を撮りたくて・・・」

「写真？撮つてどこかに売り飛ばすわけ？」

「いや、これは僕の趣味で・・・。」

「そう。なんでもいいけど、私を撮るのはやめて。わかった？」

「はい。」

じゃあもう行って。

どんと胸を押され、

人の波に無理やり返される。

その時の少女の瞳は、

本当にもうしげれるほどいろんな感情が混ざっていて、

僕にはその中の孤独の色が一番きにいった。

結局その少女は見失った。

いろんな瞳にまぎれてしまった。

その一件以来写真を撮らなくなつた。

あの瞳以外では、なにか物足りなくなつてしまつた。

だから今日も僕はカメラを片手に町を徘徊する。  
もう一度、彼女を見つけるために。

うんめいのでいい。

「あ

「あ、あんた、前に・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5492o/>

---

瞳の奥に

2010年11月12日21時08分発行